



30.9 型カラー液晶モニター

CL-S1200

設置マニュアル (システムベンダー用)

Model: CL-S1200BGJA

重要

この設置マニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、ご使用前に必ず取扱説明書の「安全上の注意」を読んで正しくお使いください。
設置マニュアルはできる限り身近な所に大切に保管してください。

B5E-0250-40

もくじ

製品セキュリティに関して	3
付属品を確認してください	4
接続のしかた	5
画面の角度調整	8
モニター情報の表示と調整	9
1. 操作キーガイド	9
2. インフォメーション表示	10
3. 現在の状態表示	11
4. DICOM 適合性試験表示	11
5. OSD 調整機能一覧	12
DICOM 適合性試験の実施方法	15
コンフィグレーションデータの切替方法	17
入力信号を切り替える	19
ダイナミックガンマ機能	21
ピクセルエンハンサー機能	23
オートテキストモード機能	25
ターボルミナンス機能	27
ダイナミックレンジエクステンション機能	29
人感センサー機能	31
EDID データの切り替え	32
テストパターンの表示方法	33
オートコンフィグセレクト機能	35
USB ハブ機能	36
リーディングライト	38
リアライト	40
工場出荷設定に戻す	42
スタンバイキーのロック機能	43
操作キーのロック機能	44
市販のアームを取り付けるときは	45
盗難防止セキュリティロックスロット	47
ヒューズの交換	48
故障かな？と思ったら	50

製品セキュリティに関して

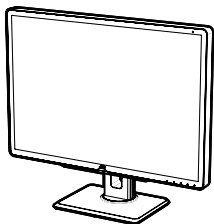
 注意	本製品は専用のマイコンシステムにより動作しています。 そのプログラムが消去・変更されると正常な表示ができなくなるおそれがあります。
 禁止	本製品をコンピュータと接続して設定変更や精度管理等の制御を行う際、 通信中は USB ケーブルを抜かないでください。
 注意	IT ネットワークへの接続に関して ・IT ネットワークへの接続には想定しないリスクが生じる可能性があります。 ・IT ネットワーク接続の変更には新たなリスクが生じる可能性があります。 ・変更には、構成の変更、機器の追加、機器の取り外し、機器の更新を含めます。 ・これらのリスクを特定し、リスクマネジメントをしてください。
 厳守	本製品をセキュアな状態でご使用いただくために、本製品と接続して使用するワークステーションにおいて、下記のセキュリティ対策を適用して使用してください。 ・アンチウィルス対策ソフトウェアのインストール ・ファイアーウォールの有効化とポート制御

付属品を確認してください

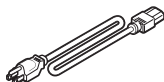
梱包箱から製品を取り出し、以下のものがすべて入っていることを確認してください。
万一足りないものや破損しているものがあつた場合は、おそれいりますが、販売店にご連絡ください。

注意 本製品に付属の電源コード以外は使用しないでください。

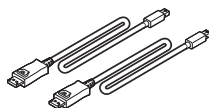
□ モニター本体



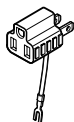
□ 電源コード (2.0 m)



□ mDP-DP ケーブル × 2
(2.0 m)



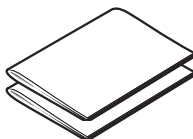
□ 3P-2P 変換アダプタ



□ USB ケーブル (3.0 m)



□ 取扱説明書 × 1
設置マニュアル × 1



□ ユーティリティディスク *



* ユーティリティディスクについて

本製品に付属のユーティリティディスクに収録されている「QA Medivisor Agent LE」をコンピュータにインストールすると、キャリブレーションや各種テストパターン表示等の拡張機能を使うことができます。

インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。



梱包箱や緩衝材は、輸送などのために保管しておいてください。

接続のしかた

1 接続するコンピュータの電源をオフにします。

2 1画面で表示する場合：

付属の mDP-DP ケーブルで、本製品の「DisplayPort_IN1」または「DisplayPort_IN2」ポートとコンピュータの DisplayPort 出力に接続します。

2画面で表示する場合：

付属の mDP-DP ケーブル 2 本で、本製品の「DisplayPort_IN1」と「DisplayPort_IN2」ポートをそれぞれコンピュータの DisplayPort 出力に接続します。

注意 付属の mDP-DP ケーブルを使用してください。付属の mDP-DP ケーブル以外を使用した場合、画面がちらつくなど表示が不安定になることがあります。

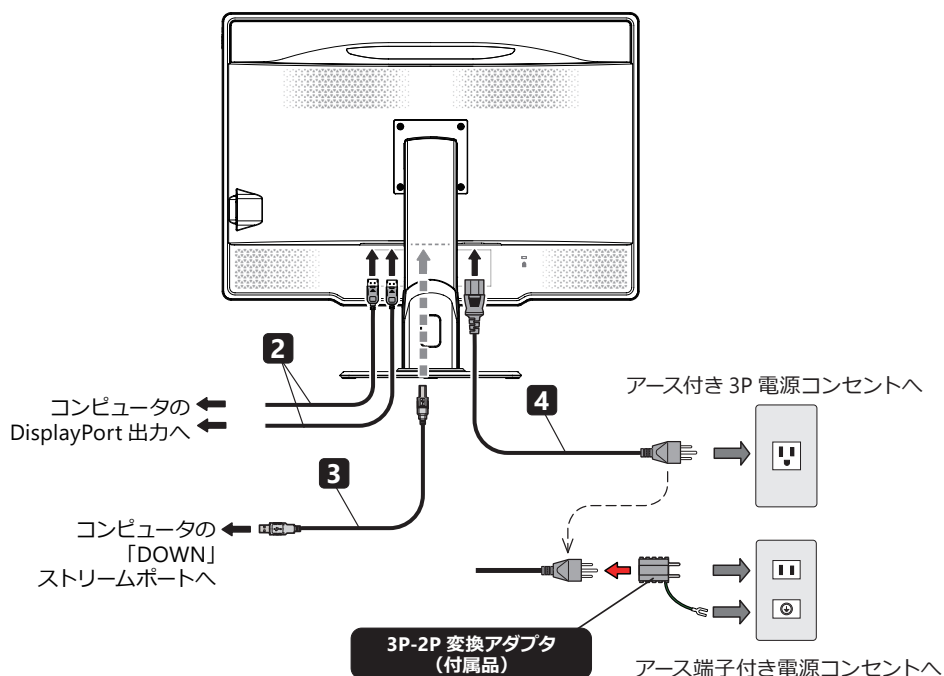
3 本製品をコンピュータから操作して設定変更や精度管理等の制御を行う際は、付属の USB ケーブルで本製品の「UP」ストリームポートとコンピュータ（または他の USB ハブ）の「DOWN」ストリームポートを接続します。

4 付属の電源コードを本製品の AC インレットとコンセントに接続します。

電源コンセントが 2P の場合は、「3P-2P 変換アダプタ」を使って接続してください。

注意 3P-2P 変換アダプタのアース線はコンセントのアース端子に確実に接続してください。

5 本製品のメイン電源をオンにして、コンピュータの電源をオンにします。

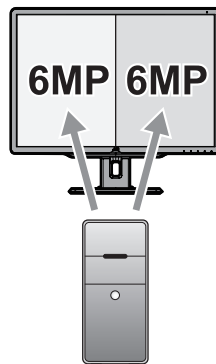


⚠ 注意

- ・ 医療用途でお使いの場合、本製品は、IEC 60601-1 認定機器に接続されることを意図しています。本製品が IEC 60601-1 認定機器へ接続されていない場合は、IEC 60601-1、IEC 60601-1-1 によるシステム評価が必要となります。
- ・ 付属の電源コード以外は使用しないでください。

● 1 台のコンピュータから 6 MP × 2 画面表示する場合の注意事項

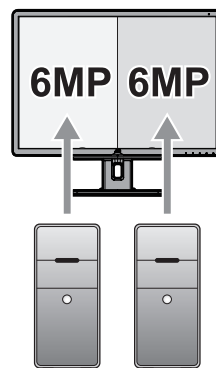
- ・ 1 枚で 2 つ以上の信号が出力可能なグラフィックスカードを使用することを推奨します。
- ・ 異なるグラフィックスカードからの出力を接続すると、フレームスキップ * を起こすことがあります。
- ・ 関連する Medivisor ソフトウェアを使用する場合は、設定条件をご確認ください。(ソフトウェアの取扱説明書参照)



コンピュータ 1 台で
6 MP × 2 表示

● 2 台のコンピュータから 6 MP × 2 画面表示する場合の注意事項

- ・ この構成はあまり推奨できません。
- ・ フレームスキップ * を起こすことがあります。
- ・ この構成の時は関連する Medivisor ソフトウェアの適用範囲外となります。(ソフトウェアの取扱説明書参照)



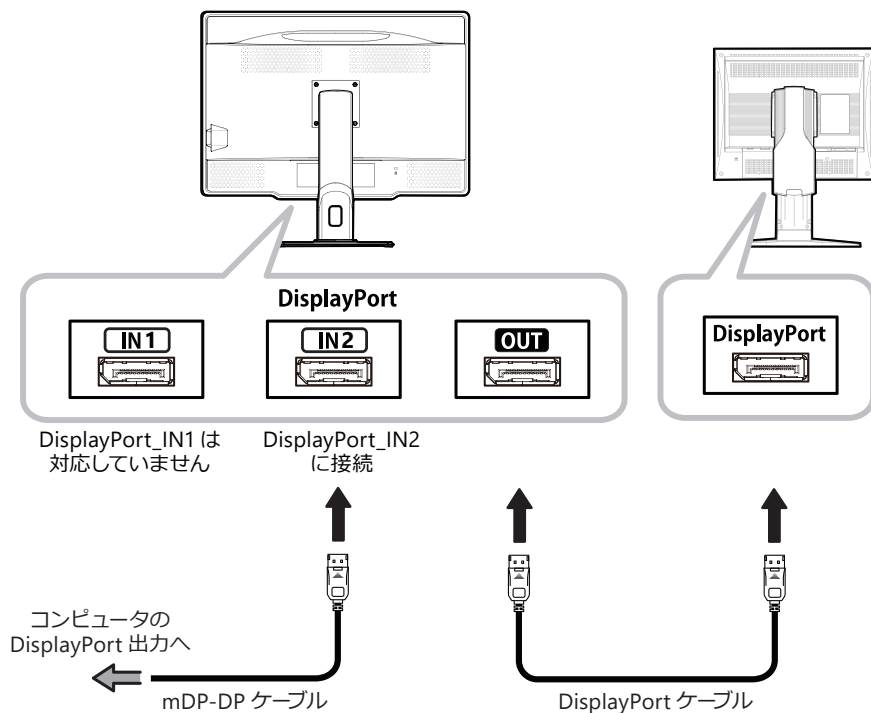
コンピュータ 2 台で
6 MP × 2 表示

* フレームスキップ: カーソルやウィンドウの高速移動や動画表示で生じる
左右画面の描画差

複数のモニターをデジーチェーン接続するときは

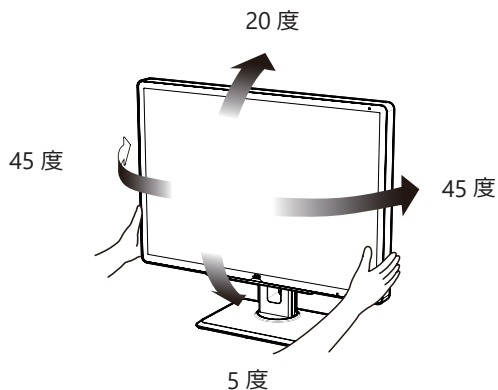
DisplayPort コネクタを下図のようにデジーチェーン接続します。

デジーチェーン接続が可能なモニターおよび推奨グラフィックスカードについては、当社の Web サイトをご確認ください。



画面の角度調整

本製品の画面は下図の範囲で任意の角度に調整することができます。調整するときは図のように画面を両手で持ち、ゆっくり動かしてください。



注意

画面の回転や高さ調節を行う際はご注意ください。
指をはさむ恐れがあります。

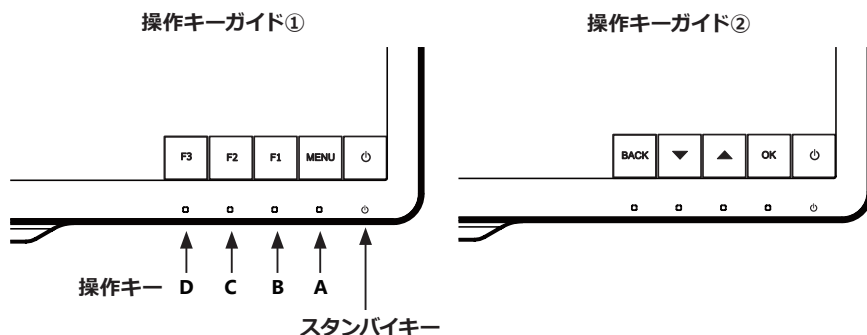


モニター情報の表示と調整

モニターの各種情報を画面上に表示 (On Screen Display=OSD) させて調整することができます。

1. 操作キーガイド

モニターが ON の状態でスタンバイキー以外の操作キー A ～ D のいずれかをタッチすると「操作キーガイド①」が表示されます。そのまま「MENU」キーをタッチすると「操作キーガイド②」に切り替わり、上部に OSD メニューが表示され、各種調整を行うことができます。(しばらく操作されないと操作キーガイドや OSD メニュー表示は消えます。)



メニューを表示して ▲ または ▼ キーでカーソルを移動させていくと、メニューのページが切り替わります。

1/2 ページ表示 → 2/2 ページ表示

メニュー 1/2 ページ

MENU	1 2 MP
> INFORMATION	1 / 2
CURRENT STATE	
DICOM CONFORMANCE TEST	
CONFIGURATION	
INPUT SOURCE	
DYNAMIC GAMMA	
PIXEL ENHANCER	
AUTO TEXT MODE	
TURBO LUMINANCE	
DYNAMIC RANGE EXTENSION	
HUMAN PRESENCE SENSOR	

メニュー 2/2 ページ

MENU	1 2 MP
> FUNCTION	2 / 2
EDID	
TEST PATTERN	
AUTO CONFIG SELECT	
USB POWER	
READING LIGHT	
REAR LIGHT	
FACTORY PRESET	

各項目の機能については ■■■▶ P12「OSD 調整機能一覧」をご確認ください。

2. インフォメーション表示

- 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 「MENU」キーをタッチします。
- メニュー 1/2 ページから「**INFORMATION**」を選択し、「OK」キーをタッチします。
すると下図のような「インフォメーション 1/2 ページ」の OSD が表示されます。
▲ または ▼ キーをタッチすると OSD の「インフォメーション 1/2 ページ」と「インフォメーション 2/2 ページ」が切り替わります。

インフォメーション 1/2 ページ

	12MP 1 / 2
解像度	INFORMATION
モデル名	MODEL : CL-S1200
製造番号	SERIAL : *****
メンテナンス情報	VSPU : Rev. 001.002
モニターの累積稼働時間	MPU : Rev. A
キャリブレーションを行ってからの稼働経過時間	ACT TIME : 99999 H
EDID	LAST CAL : 99999 H
ダイナミックガンマ機能	EDID : 12MP/60Hz
ピクセルエンハンサー機能	D-GAMMA : Enable
オートテキストモード機能	P-ENHANCE : Low
ターボルミナンス機能	AUTO-TEXT : Enable
	TURBO-LUM : Disable

インフォメーション 2/2 ページ

	12MP 2 / 2
ダイナミックレンジエクステンション機能	INFORMATION
人感センサーモード	D-RANGE-EX : 08
テストパターンの種類	H-SENSOR : Enable
オートコンフィグセレクト機能	T-PATTERN : AAPM TG18-OIQ
USB 出力設定	A-CONFIG : Disable
リーディングライト	USB POWER : Auto
リアライト	R-LIGHT : 12
F1 (テストパターン)	REAR LIGHT : Disable
F2 (リーディングライト)	FUNC-1 : TEST PATTERN
F3 (リアライト)	FUNC-2 : READING LIGHT
	FUNC-3 : REAR LIGHT

上図の場合、

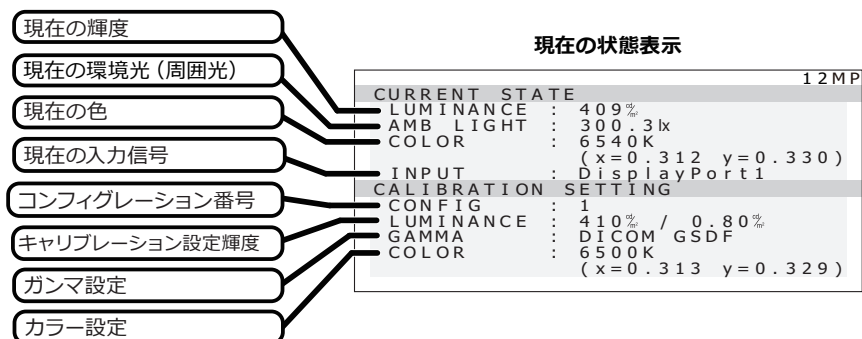
ファンクション 1 (F1) キーは「テストパターン」表示のオン/オフ、

ファンクション 2 (F2) キーは「リーディングライト」のオン/オフ、

ファンクション 3 (F3) キーは「リアライト」のオン/オフが割り当てられています。

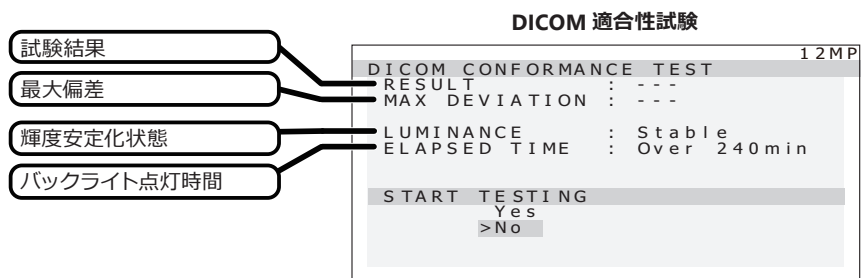
3. 現在の状態表示

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーでメニュー 1/2 ページから「CURRENT STATE」を選択し、「OK」キーをタッチします。
すると下図のような「現在の状態表示」の OSD が表示されます。



4. DICOM適合性試験表示

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーでメニュー 1/2 ページから「DICOM CONFORMANCE TEST」を選択し、「OK」キーをタッチします。
すると下図のような「DICOM 適合性試験」の OSD が表示されます。



5. OSD 調整機能一覧

OSD の階層と機能概要を示します。

MENU

— INFORMATION	モニター情報表示 (モデル名、S/N 等)
— CURRENT STATE	現在の状態表示
— DICOM CONFORMANCE TEST	DICOM 適合試験
└ START TESTING	
└ Yes	DICOM 適合性試験を実施する
└ CANCEL TESTING	DICOM 適合性試験の中止操作
└ Yes	試験を中止する
└ No	試験を続行する
└ No	DICOM 試験を行わない
— CONFIGURATION	
└ Config 1 *	Configuration 1
└ Config 2	Configuration 2
└ Config 3	Configuration 3
└ Config 4	Configuration 4
└ Config 5	Configuration 5
— INPUT SOURCE	
└ DisplayPort 1	DisplayPort 1 入力
└ DisplayPort 2	DisplayPort 2 入力
└ DisplayPort 1+2	2 画面表示
— DYNAMIC GAMMA	
└ Disable *	無効
└ Enable	有効
— PIXEL ENHANCER	
└ Disable *	無効
└ Enable	有効
└ PIXEL ENHANCER LEVEL	
└ Low	効果小
└ Middle	効果中
└ High	効果大
— AUTO TEXT MODE	
└ Disable *	無効
└ Enable	有効
— TURBO LUMINANCE	
└ Disable *	無効
└ Enable	有効
— DYNAMIC RANGE EXTENSION	
└ Disable *	無効
└ Enable	有効
└ DYNAMIC RANGE EXTENSION LEVEL	レベル

HUMAN PRESENCE SENSOR	
Disable *	無効
Enable	有効
FUNCTION ※ 1	
FUNCTION1	F1 キーに割り振る機能設定
FUNCTION2	F2 キーに割り振る機能設定
FUNCTION3	F3 キーに割り振る機能設定
EDID	
12 MP/60 Hz *	12 MP/60 Hz、12 MP/30 Hz 表示する場合
6 MP/60 Hz	6 MP/60 Hz 表示する場合
TEST PATTERN	
SMPTE pattern	SMPTE パターン
AAPM TG18-OIQ pattern	AAPM TG18-OIQ パターン
AUTO CONFIG SELECT	
Disable *	無効
Enable	有効
USB POWER ※ 2	
Auto *	USB upstream 接続時のみ USB 電源オン
Off	USB 電源オフ
READING LIGHT	
Disable *	無効
Enable	有効
READING LIGHT LEVEL	調光
REAR LIGHT	
Disable *	無効
Enable	有効
REAR LIGHT LEVEL	調光
FACTORY PRESET	
Yes	FACTORY PRESET を実行する
No	FACTORY PRESET を実行しない

- スタンバイキーロック (スタンバイキーをタッチし続けることでスタンバイキーがロックされる)
- 操作キーロック (操作キーの B および C をタッチし続けることでスタンバイキー以外のキーがロックされる)

* 印の付いた項目が工場出荷設定されています。

※ 1: FUNCTION キーに割り当てられる機能

- | | |
|------------------|---------------------------|
| • INPUT SOURCE | • TURBO LUMINANCE |
| • CONFIGURATION | • DYNAMIC RANGE EXTENSION |
| • DYNAMIC GAMMA | • TEST PATTERN |
| • PIXEL ENHANCER | • READING LIGHT |
| • AUTO TEXT MODE | • REAR LIGHT |

※ 2 : USB POWER 設定と USB / DisplayPort 電源動作

OSD 設定	USB UP 接続あり			USB UP 接続なし		
USB POWER	モニター電源 ON	モニター電源 OFF	モニターパワーセーブ	モニター電源 ON	モニター電源 OFF	モニターパワーセーブ
AUTO	USB ハブ 電源 ON			USB ハブ 電源 OFF		
	DisplayPort 電源 ON					
OFF	USB ハブ 電源 ON	USB ハブ 電源 OFF		USB ハブ 電源 OFF		
	DisplayPort 電源 ON	DisplayPort 電源 OFF		DisplayPort 電源 ON	DisplayPort 電源 OFF	

DICOM 適合性試験の実施方法

注意

この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされているときのみ有効となります。DICOM 適合性試験を行うことにより、本製品が DICOM に適合しているかどうか表示特性を測定し、確認することができます。

DICOM 適合性試験は、モニターの電源を入れて液晶パネルのバックライトが点灯してから 60 分以上経過した輝度が安定した状態で行うことをお勧めします。60 分未満の場合は、モニターの輝度が安定した状態にならないため、測定誤差が大きくなる恐れがあります。

DICOM 適合性試験の実施手順

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「CURRENT STATE」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) ガンマ設定が「DICOM GSDF」になっていることを確認します。

現在の状態表示

CURRENT STATE		12MP
LUMINANCE	: 409%	
AMB LIGHT	: 300.3lx	
COLOR	: 6540K	
INPUT		(x=0.312 y=0.330)
CALIBRATION SETTING		DisplayPort1
CONFIG	: 1	
LUMINANCE	: 410% / 0.80%	
GAMMA	: DICOM GSDF	
COLOR	: 6500K	
		(x=0.313 y=0.329)

ガンマ設定

前回の試験結果を表示
(試験未実施の場合は
--- 表示となります。)

輝度安定化状態

Stable : 安定 (推奨)
Unstable : 不定

バックライト点灯時間

60 分以上 (推奨)
240 分以上の場合は
Over 240min と表示されます。

DICOM CONFORMANCE TEST		12MP
RESULT	: ---	
MAX DEVIATION	: ---	
LUMINANCE	: Stable	
ELAPSED TIME	: Over 240min	
START TESTING		
>Yes		
No		

- 5) 「BACK」キーをタッチします。
- 6) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「DICOM CONFORMANCE TEST」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「DICOM CONFORMANCE TEST」の OSD 表示から「START TESTING」の「Yes」を選択し、「OK」キーをタッチします。

※ ガンマ設定が「DICOM GSDF」になっていない場合、試験開始は表示されません。

DICOM 適合性試験

DICOM CONFORMANCE TEST		12MP
RESULT	: ---	
MAX DEVIATION	: ---	
LUMINANCE	: Stable	
ELAPSED TIME	: Over 240 min	
START TESTING		
	>Yes	
	No	

試験開始

測定が完了するまで 1 分から 2 分程度かかります。

7) 試験結果の表示

測定が完了すると試験結果が表示されます。

試験結果		12MP
DICOM CONFORMANCE TEST		
RESULT	: ---	
MAX DEVIATION	: ---	
LUMINANCE	: Stable	
ELAPSED TIME	: Over 240 min	
START TESTING		
	Yes	
	>No	

試験結果

Passed: 最大偏差 ≤ 10 %
 Failed: 最大偏差 > 10 %
 Canceled: キャンセルされた
 Passed(!), Failed(!)
 推奨条件 (バックライト点灯時間 60 分以上で輝度が安定) を満たしていなかった場合に (!) を表示します。
 連続して 30 秒以内に試験を行う場合は、LUMINANCE が Unstable になり、RESULT は (!) 表示になります。

最大偏差

この結果は次回の試験またはキャリブレーションが行われるまで保持されます。

推奨条件での最大偏差が規格に適合しない場合は、外部輝度センサーを用いたキャリブレーションを行ってください。

OSD の未操作状態が約 15 秒続くと OSD 表示は自動的に消えます。

コンフィグレーションデータの切替方法

本製品は、キャリブレーション設定された画面状態（輝度・ガンマ・色温度）をコンフィグレーションデータとして最大 5 つまでモニターに保存することができます。コンフィグレーションデータの切り替えを行うには、OSD で CONFIGURATION を表示して切り替える必要があります。工場出荷状態ではあらかじめ下記 5 つが設定されており、デフォルトは出荷設定により異なります。コンフィグレーションデータの切り替えは、下記手順で行ってください。

コンフィグレーション 設定番号	輝度 (cd/m ²)		色温度	ガンマ	出荷設定
	最大	最小			
1	600	0.5	7500 K ^{※1}	DICOM GSDF	国内, 欧州, 韓国
2	600	1	7500 K ^{※1}	DICOM GSDF	北米
3	350	0.5	7500 K ^{※1}	DICOM GSDF	—
4	350	0.6	6500 K ^{※2}	EXP. 2.2	—
5	500	0.6	7500 K ^{※1}	DICOM GSDF	—

※ 1: x0.299, y0.315

※ 2: x0.313, y0.329

注意 工場出荷状態以外の任意の画面状態を設定したり、保存する場合は、オプションの「キャリブレーションキット」を必要とします。

設定方法1

OSD でコンフィグレーションデータを切り替えることができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「CONFIGURATION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「CONFIGURATION」の OSD 表示から「Config1」、「Config2」、「Config3」、「Config4」、または「Config5」を選択し、「OK」キーをタッチします。

設定方法2

コンフィグレーションデータの切り替えを操作キーのファンクション (F1、F2、F3) に割り当て、キー操作で簡単に切り替えることができます。ここでは、「F2」キーに割り当てする方法を紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION2」の OSD 表示から「CONFIGURATION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 6) 「F2」キーをタッチしてコンフィグレーション機能の OSD 表示から「Config1」、「Config2」、「Config3」、「Config4」、または「Config5」を切り替えます。
コンフィグレーションの設定状態は「CURRENT STATE」の「CALIBRATION SETTING」ステータスで確認することができます。

現在の状態表示

コンフィグレーション番号

CURRENT STATE		12MP
LUMINANCE	: 409%	
AMB LIGHT	: 300.3lx	
COLOR	: 6540K	
	(x=0.312 y=0.330)	
INPUT	: DisplayPort1	
CALIBRATION SETTING		
CONFIG	: 1	
LUMINANCE	: 410% / 0.80%	
GAMMA	: DICOM GSDF	
COLOR	: 6500K	
	(x=0.313 y=0.329)	

入力信号を切り替える

本製品の入力信号切替は、下記の手順で行ってください。

設定方法1

OSD で入力信号を切り替えることができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「INPUT SOURCE」を選択し、「OK」キーをタッチします。

次に「INPUT SOURCE」の OSD 表示から「DisplayPort 1」、「DisplayPort 2」または「DisplayPort 1+2」を選択し、「OK」キーをタッチします。

注意 入力信号が PC から 2 系統受信されていない場合は「INPUT SOURCE」を切り替えても表示は切り替わりません。

設定方法2

入力信号の切り替えを操作キーのファンクション (F1、F2、F3) に割り当て、キー操作で簡単に切り替えることができます。ここでは、「F1」キーに割り当てる方法を紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION1」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION1」の OSD 表示から「INPUT SOURCE」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 6) 「F1」キーをタッチして「INPUT SOURCE」の OSD 表示から「DisplayPort 1」、「DisplayPort 2」または「DisplayPort 1+2」に入力信号を切り替えます。
「INPUT SOURCE」の状態は「CURRENT STATE」のステータスで確認することができます。

現在の状態表示

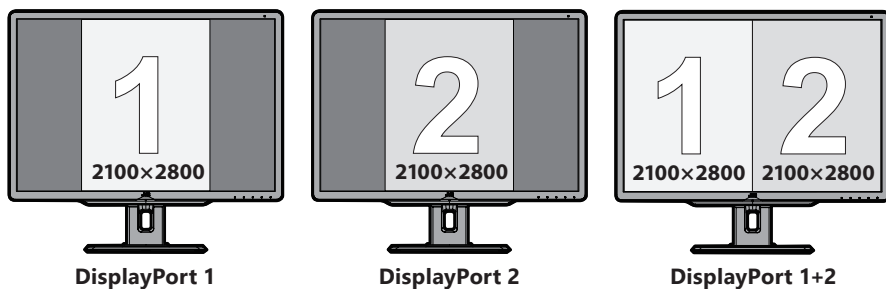
CURRENT STATE		12MP
LUMINANCE	: 409%	
AMB LIGHT	: 300.3lx	
COLOR	: 6540K	
INPUT	: (x=0.312 y=0.330)	
CALIBRATION	: DisplayPort 1	
SETTING		
CONFIG	: 1	
LUMINANCE	: 410% / 0.80%	
GAMMA	: DICOM GSDF	
COLOR	: 6500K	
	: (x=0.313 y=0.329)	

現在の入力信号

INPUT SOURCE の DisplayPort 1+2 を選択した場合の画面表示

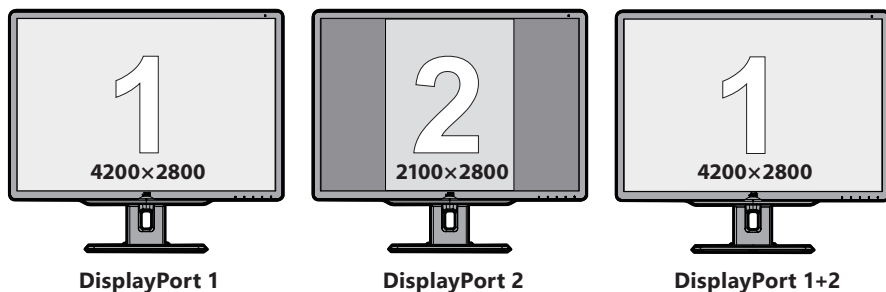
下図は DisplayPort 1、DisplayPort 2 の両方の解像度を 6 MP (2100 × 2800) とした場合の例です。

INPUT SOURCE の DisplayPort 1+2 を選択した場合は、両方の入力画面が表示されます。



下図は DisplayPort 1 が解像度 12 MP (4200 × 2800)、DisplayPort 2 が解像度を 6 MP (2100 × 2800) とした場合の例です。

INPUT SOURCE の DisplayPort 1+2 を選択した場合は、液晶パネルの表示画素数を超えてしまい一度に両方の画面表示が行えないため、解像度の高い入力が優先されて DisplayPort 1 (解像度 12 MP (4200 × 2800)) のみが表示されます。



ダイナミックガンマ機能

本製品は当社独自のダイナミックガンマ機能を搭載しています。この機能を有効にすると画面内に混在するモノクローム画像とカラー画像を自動的に識別して、それぞれに最適な階調での表示が可能になります。

本機能は予め「Disable（無効）」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable（有効）」に設定変更することもできます。

注意 この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされているときのみ有効となります。本製品の不変性試験を実施する場合は、D-GAMMA の設定を「Disable（無効）」にした状態で行ってください。

設定方法1

OSD でダイナミックガンマ機能をオン / オフ（有効 / 無効）することができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「DYNAMIC GAMMA」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「DYNAMIC GAMMA」の OSD 表示から「Disable（無効）」または「Enable（有効）」を選択し、「OK」キーをタッチします。

設定方法2

ダイナミックガンマ機能を操作キーのファンクション（F1、F2、F3）に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ（有効 / 無効）することができます。ここでは、「F2」キーに割り当てる方法をご紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION2」の OSD 表示から「DYNAMIC GAMMA」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 6) 「F2」キーをタッチしてダイナミックガンマ機能のオン / オフ（有効 / 無効）を切り替えます。
ダイナミックガンマ機能のオン / オフ（有効 / 無効）状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「D-GAMMA」ステータスで確認することができます。

- ・Enable (有効)
- ・Disable (無効)

インフォメーション 1/2 ページ

INFORMATION		1 2MP
MODEL	: CL-S1200	1 / 2
SERIAL	: *****	
VSPU	: Rev. 001.002	
MPU	: Rev. A	
ACT TIME	: 99999 H	
LAST CAL	: 99999 H	
EDID	: 12MP/60Hz	
D-GAMMA	: Enable	
P-ENHANCE	: Low	
AUTO-TEXT	: Enable	
TURBO-LUM	: Disable	

ダイナミックガンマ機能

注意 画像によっては明るさの変化を生じることがあります。

ピクセルエンハンサー機能

本製品には、ピクセルエンハンサー機能を搭載しています。この機能を有効にすることでカラー画像の輪郭を明瞭にできます。

本機能は予め「Disable（無効）」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable（有効）」に設定変更することもできます。



ピクセルエンハンサー機能が「Enable（有効）」の場合、画面上部に点滅で表示されます。

設定方法1

OSD でピクセルエンハンサー機能をオン / オフ（有効 / 無効）することができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「PIXEL ENHANCER」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「PIXEL ENHANCER」の OSD 表示から「Disable（無効）」または「Enable（有効）」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「Enable（有効）」を選択すると、「PIXEL ENHANCER LEVEL」の「Low（効果小）」、「Middle（効果中）」、「High（効果大）」が表示されます。
▲ または ▼ キーをタッチして「Low」、「Middle」または「High」を選択し、「OK」キーをタッチします。

設定方法2

ピクセルエンハンサー機能を操作キーのファンクション（F1、F2、F3）に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ（有効 / 無効）することができます。ここでは、「F2」キーに割り当てる方法を紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION2」の OSD 表示から「PIXEL ENHANCER」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 6) 「F2」キーをタッチしてピクセルエンハンサー機能のオン / オフ（有効 / 無効）を切り替えます。
ピクセルエンハンサー機能のオン / オフ（有効 / 無効）状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「P-ENHANCE」ステータスで確認することができます。
- 7) 「Low（効果小）」、「Middle（効果中）」、「High（効果大）」を切り替えるには設定方法 1 の 1) ～ 4) で行います。

- **Low** (効果小)
- **Middle** (効果中)
- **High** (効果大)
- **Disable** (無効)

インフォメーション 1/2 ページ

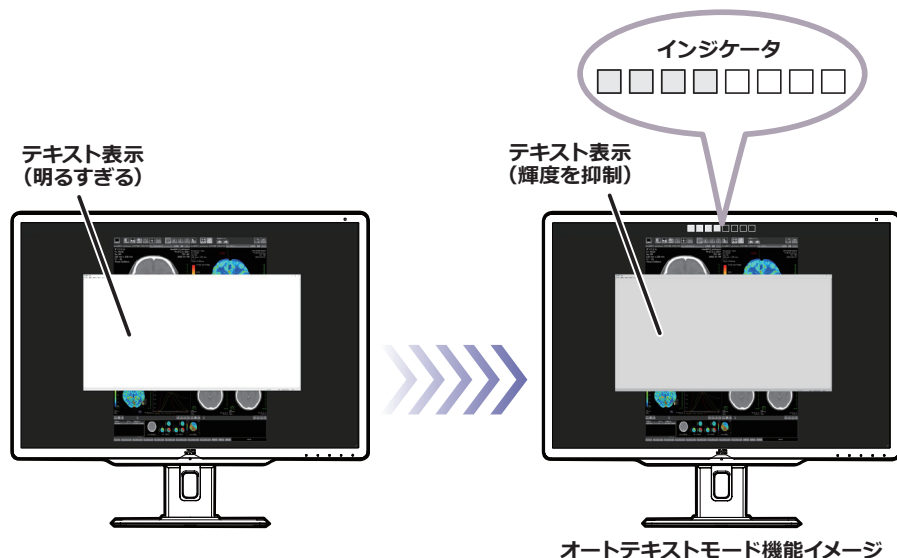
ピクセルエンハンサー機能

INFORMATION		1 / 2 12MP
MODEL	: CL-S1200	
SERIAL	: *****	
VSPU	: Rev. 001.002	
MPU	: Rev. A	
ACT TIME	: 99999 H	
LAST CAL	: 99999 H	
EDID	: 12MP/60Hz	
D-GAMMA	: Enable	
P-ENHANCE	: Low	
AUTO-TEXT	: Enable	
TURBO-LUM	: Disable	

オートテキストモード機能

本製品には、レポートや患者リストなどのテキスト（白）表示を自動的に検知し、その表示面積に応じて画面の輝度を抑えるオートテキストモード機能を搭載しています。これまで、高輝度に設定されている医用画像表示用モニターでのテキスト（白）表示は明るすぎて見づらくなっていましたが、本機能により画面の輝度を抑え、目のストレス（疲労）を軽減します。

本機能は予め「Disable（無効）」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable（有効）」に設定変更することもできます。



オートテキストモード機能が「Enable（有効）」の場合、効果の度合いを示すインジケータが画面上部に点滅表示されます。
画面上のテキスト（白）表示面積に応じて画面の輝度が抑えられます。

設定方法 1

OSD でオートテキストモード機能をオン / オフ（有効 / 無効）することができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「AUTO TEXT MODE」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「AUTO TEXT MODE」の OSD 表示から「Disable（無効）」または「Enable（有効）」を選択し、「OK」キーをタッチします。

設定方法 2

オートテキストモード機能を操作キーのファンクション (F1、F2、F3) に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ (有効 / 無効) することができます。ここでは、「F2」キーに割り当てる方法を紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION2」の OSD 表示から「AUTO TEXT MODE」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 6) 「F2」キーをタッチしてオートテキストモード機能を切り替えます。
オートテキストモード機能は「F2」キーをタッチすることでオン / オフ (有効 / 無効) にすることができます。
オートテキストモード機能のオン / オフ (有効 / 無効) 状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「AUTO-TEXT」ステータスで確認することができます。

- ・Enable (有効)
- ・Disable (無効)

インフォメーション 1/2 ページ

INFORMATION		1 12MP 1 / 2
MODEL	: CL-S1200	
SERIAL	: *****	
VSPU	: Rev. 001.002	
MPU	: Rev. A	
ACT TIME	: 99999 H	
LAST CAL	: 99999 H	
EDID	: 12MP/60Hz	
D-GAMMA	: Enable	
P-ENHANCE	: Low	
AUTO-TEXT	: Enable	←
TURBO-LUM	: Disable	

オートテキストモード機能

ターボルミナンス機能

本製品には、ターボルミナンス機能を搭載しています。この機能を有効にすることで画面の明るさとコントラストを一時的に上げて画像診断を補助します。

本機能は予め「Disable（無効）」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable（有効）」に設定変更することもできます。「Enable（有効）」に設定変更後、一定時間が経つと自動的に「Disable（無効）」になります。

注意 この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされているときのみ有効となります。



ターボルミナンス機能が「Enable（有効）」の場合、画面上部に点滅で表示されます。

設定方法1

OSD でターボルミナンス機能をオン / オフ（有効 / 無効）することができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「**MENU**」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「**TURBO LUMINANCE**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
次に「TURBO LUMINANCE」の OSD 表示から「**Disable**（無効）」または「**Enable**（有効）」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。

設定方法2

ターボルミナンス機能を操作キーのファンクション（F1、F2、F3）に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ（有効 / 無効）することができます。ここでは、「**F2**」キーに割り当てる方法をご紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「**MENU**」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「**FUNCTION2**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION2」の OSD 表示から「**TURBO LUMINANCE**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 6) 「**F2**」キーをタッチしてターボルミナンス機能のオン / オフ（有効 / 無効）を切り替えます。
ターボルミナンス機能のオン / オフ（有効 / 無効）状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「**TURBO-LUM**」ステータスで確認することができます。

- ・ Enable (有効)
- ・ Disable (無効)

インフォメーション 1/2 ページ

ターボリミナンス機能

INFORMATION		1 / 2 12MP
MODEL	: CL-S1200	
SERIAL	: *****	
VSPU	: Rev. 001.002	
MPU	: Rev. A	
ACT TIME	: 99999 H	
LAST CAL	: 99999 H	
EDID	: 12MP/60Hz	
D-GAMMA	: Enable	
P-ENHANCE	: Low	
AUTO-TEXT	: Enable	
TURBO-LUM	: Disable	

ダイナミックレンジエクステンション機能

本製品には、ダイナミックレンジエクステンション機能を搭載しています。この機能を有効にすると特定の階調領域を拡張して透過性を高くできることで、重要な所見の確認が可能になります。本機能は予め「Disable（無効）」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable（有効）」に設定変更することもできます。「Enable（有効）」に設定変更後、一定時間が経つと自動的に「Disable（無効）」になります。

注意 この機能は画像観察補助機能として使用してください。



ダイナミックレンジエクステンション機能が「Enable（有効）」の場合、画面上部に点滅で表示されます。

設定方法 1

OSD でダイナミックレンジエクステンション機能をオン / オフ（有効 / 無効）することができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「**DYNAMIC RANGE EXTENSION**」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「DYNAMIC RANGE EXTENSION」の OSD 表示から「**Disable**（無効）」または「**Enable**（有効）」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「**Enable**（有効）」を選択すると、「**DYNAMIC RANGE EXTENSION LEVEL**」の 1 から 16 までの可変バーが表示されます。
+ または - キーをタッチしてレベルを調整します。

設定方法 2

ダイナミックレンジエクステンション機能を操作キーのファンクション（F1、F2、F3）に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ（有効 / 無効）することができます。ここでは、「**F2**」キーに割り当てる方法をご紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「**FUNCTION2**」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION2」の OSD 表示から「**DYNAMIC RANGE EXTENSION**」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。

6) 「F2」キーをタッチしてダイナミックレンジエクステンション機能のオン / オフ (有効 / 無効) を切り替えます。

7) レベルを切り替えるには設定方法 1 の 1) ～ 4) で行います。

ダイナミックレンジエクステンション機能のオン / オフ (有効 / 無効) 状態は「インフォメーション 2/2 ページ」の「D-RANGE-EX」ステータスで確認することができます。

・1 ～ 16 (有効)

・Disable (無効)

インフォメーション 2/2 ページ

ダイナミックレンジ
エクステンション機能

INFORMATION		12MP
D-RANGE-EX	: 08	2 / 2
H-SENSOR	: Enable	
T-PATTERN	: AAPM TG18-OIQ	
A-CONFIG	: Disable	
USB POWER	: Auto	
R-LIGHT	: 12	
REAR LIGHT	: Disable	
FUNC-1	: TEST PATTERN	
FUNC-2	: READING LIGHT	
FUNC-3	: REAR LIGHT	

人感センサー機能

本製品には人感センサー機能が搭載されています。人の動きを検知し、離席時は自動でモニターをスタンバイ状態にします。これにより、消費電力カットを実現します。

本機能は予め「Disable (無効)」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable (有効)」に設定変更することもできます。

設定方法

OSD で人感センサー機能をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。

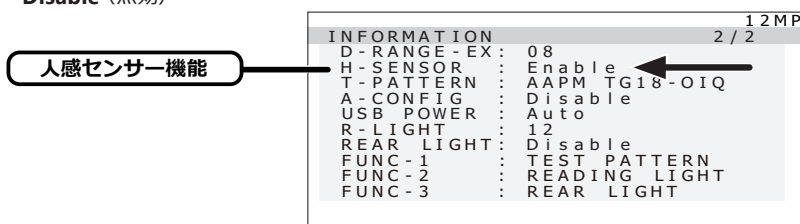
- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「**HUMAN PRESENCE SENSOR**」を選択し、「OK」キーをタッチします。

次に「HUMAN PRESENCE SENSOR」の OSD 表示から「**Disable (無効)**」または「**Enable (有効)**」を選択し、「OK」キーをタッチします。

人感センサー機能のオン / オフ (有効 / 無効) 状態は「インフォメーション 2/2 ページ」の「**H-SENSOR**」ステータスで確認することができます。

- ・ Enable (有効)
- ・ Disable (無効)

インフォメーション 2/2 ページ



EDID データの切り替え

EDID データの切り替えは下記の手順で行ってください。

設定方法

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「EDID」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「EDID」の OSD 表示から「12 MP/60 Hz」または「6 MP/60 Hz」を選択し、「OK」キーをタッチします。
EDID の設定状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「EDID」ステータスで確認することができます。

- ・12 MP/60 Hz: 12 MP/60 Hz、12 MP/30 Hz 表示する場合
- ・6 MP/60 Hz: 6 MP/60 Hz 表示する場合

インフォメーション 1/2 ページ

EDID データステータス情報

INFORMATION		12 MP
		1 / 2
MODEL	: CL-S1200	
SERIAL	: *****	
VSPU	: Rev. 001.002	
MPU	: Rev. A	
ACT TIME	: 99999 H	
LAST CAL	: 99999 H	
EDID	: 12MP/60Hz	
D-GAMMA	: Enable	
P-ENHANCE	: Low	
AUTO-TEXT	: Enable	
TURBO-LUM	: Disable	

テストパターンの表示方法

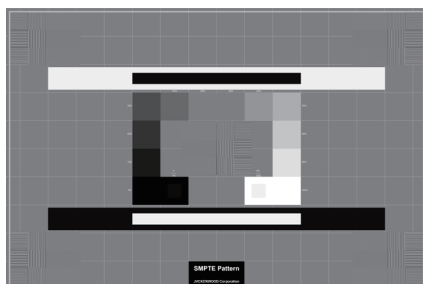
本製品は画質確認用のテストパターンを表示することができます。

テストパターンの選択

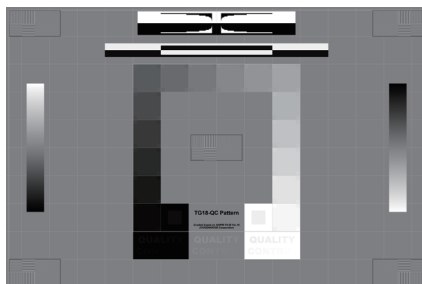
- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「TEST PATTERN」を選択し、「OK」キーをタッチします。
すると「TEST PATTERN」の OSD が表示されます。
「SMPTE pattern」または「AAPM TG18-OIQ pattern」から任意のテストパターンを選択して「OK」キーをタッチします。

出荷時に設定されているテストパターンは仕向先により異なります。

仕向け地域	テストパターン
北米	SMPTE パターン
その他の地域	AAPM TG18-OIQ パターン



SMPTE パターン



AAPM TG18-OIQ パターン

設定方法

テストパターンの表示を操作キーのファンクション (F1、F2、F3) に割り当てることができます。
ここでは、「F1」キーで表示のオン / オフができるように割り当てます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION1」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION1」の OSD 表示から「TEST PATTERN」を選択し、「OK」キーをタッチします。

表示方法

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「F1」キーをタッチしてテストパターンを表示します。
テストパターンは、表示されてから 10 秒後に自動的に消えます。表示中に再度「F1」キーをタッチすることで、テストパターンを消すこともできます。

オートコンフィグセレクト機能

本製品にはオートコンフィグセレクト機能を搭載しています。この機能を有効にすると対応ビューワーとの連携により、適切なコンフィグレーションに自動で切り替わります。本機能は予め「Disable（無効）」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable（有効）」に設定変更することもできます。

設定方法

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド④」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「**AUTO CONFIG SELECT**」を選択し、「OK」キーをタッチします。

次に「AUTO CONFIG SELECT」の OSD 表示から「**Disable（無効）**」または「**Enable（有効）**」を選択し、「OK」キーをタッチします。

オートコンフィグセレクト機能のオン / オフ（有効 / 無効）状態は「インフォメーション 2/2 ページ」の「**A-CONFIG**」ステータスで確認することができます。

- ・ Enable（有効）
- ・ Disable（無効）

インフォメーション 2/2 ページ

オートコンフィグセレクト機能

INFORMATION		1 2 MP
		2 / 2
D - RANGE - EX :	08	
H - SENSOR :	Enable	
T - PATTERN :	AAPM TG18-OIQ	
A - CONFIG :	Disable	←
USB POWER :	Auto	
R - LIGHT :	12	
REAR LIGHT :	Disable	
FUNC - 1 :	TEST PATTERN	
FUNC - 2 :	READING LIGHT	
FUNC - 3 :	REAR LIGHT	

USB ハブ機能

本製品は、USB 2.0 規格準拠のハブを搭載しています。付属の USB ケーブルを USB 対応のコンピュータ、または他の USB ハブに接続することで、本製品の USB ハブに USB 周辺機器を接続することができます。

USB ハブの電源供給 (USB POWER) は予め「Auto (オート)」に設定されていますが、OSD 操作で「Off (オフ)」に設定変更することもできます。

設定方法

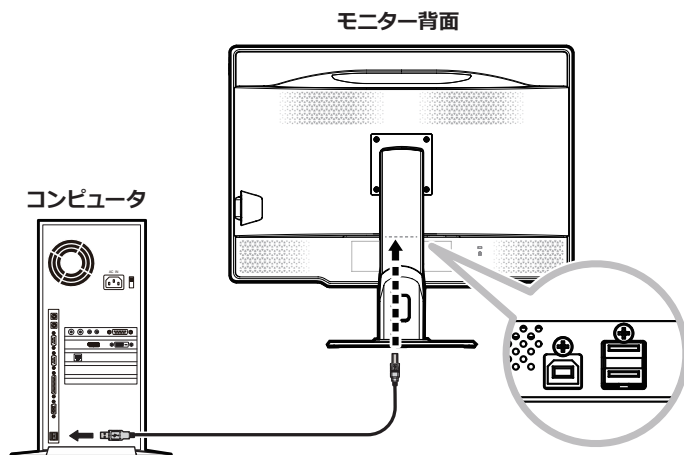
OSD で USB ハブの電源供給 (USB POWER) をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。

- 1) 操作キー A ~ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「**USB POWER**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。

次に「USB POWER」の OSD 表示から「**Auto** (オート)」または「**Off** (オフ)」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。

- ・**Auto** (オート) : パソコンと接続したときにオンとして使える
- ・**Off** (オフ) : 常に電源供給はオフ

- 1 本製品とコンピュータを付属の mDP-DP ケーブルで接続し、コンピュータを起動します。
(■■■▶ P5)
- 2 付属の USB ケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとコンピュータ (または他の USB ハブ) の「DOWN」ストリームポートに接続します。
自動的に USB 機能がセットアップされます。



重要

USB ハブに接続するすべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
ご使用のコンピュータ、OS および周辺機器によって、動作しない場合があります。

●キャリブレーションについて

本製品は USB ポートにキャリブレーションキット（オプション）を接続してキャリブレーションを行うことができます。

キャリブレーションの方法についてはキャリブレーションキットの取扱説明書をご参照ください。

キャリブレーションする際は、付属の USB ケーブルを用いて PC の USB 「DOWN」 ストリームポートと本製品の USB 「UP」 ストリームポートを接続してください。

●複数台のモニターを連続してキャリブレーションする

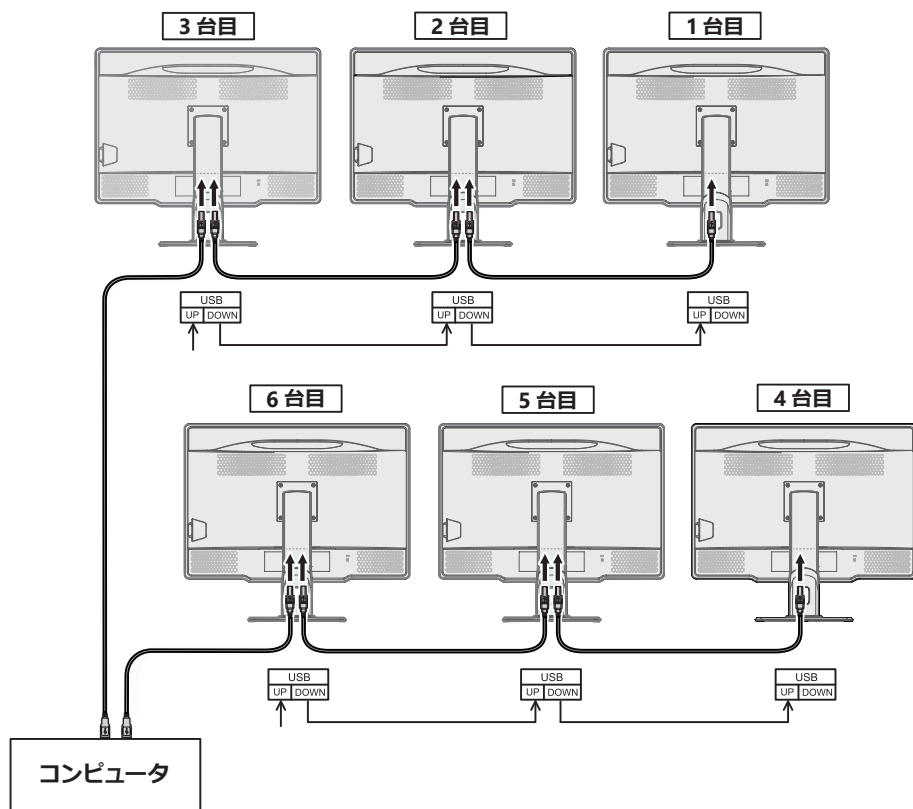
本機種同士の複数台を USB ケーブルでチェーン接続すると、最大 6 台まで連続してキャリブレーションすることができます。

- 1 コンピュータの USB 「DOWN」 ストリームポートと 1 台目のモニターの USB 「UP」 ストリームポートを付属の USB ケーブルで接続します。

※モニターのポートは後述の USB 「UP」 ストリームポートで選択中のポートに接続してください。

- 2 1 台目の USB 「DOWN」 ストリームポートと 2 台目のモニターの USB 「UP」 ストリームポートを付属の USB ケーブルで接続します。

- 3 以下同様に 2 台目と 3 台目、4 台目と 5 台目というように接続します。



リーディングライト

本製品は手元照明用のリーディングライトを搭載しています。マンモグラフィ診断が行われる読影室環境（20ルクス以下）にて、手元書類やキーボードを照らす事で暗い環境での使用における目の負担を軽減する事が出来ます。

本機能は予め「Disable（無効）」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable（有効）」に設定変更することもできます。

設定方法 1

OSD でリーディングライト機能をオン / オフ（有効 / 無効）することができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「READING LIGHT」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「READING LIGHT」の OSD 表示から「Disable（無効）」または「Enable（有効）」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「Enable（有効）」を選択すると、「READING LIGHT LEVEL」の 1 から 16 までの可変バーが表示されます。
+ または - キーをタッチして明るさを調整します。

設定方法 2

リーディングライト機能を操作キーのファンクション（F1、F2、F3）に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ（有効 / 無効）することができます。ここでは、「F2」キーに割り当てる方法を紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「MENU」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」キーをタッチします。
次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 4) 「FUNCTION2」の OSD 表示から「READING LIGHT」を選択し、「OK」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 6) 「F2」キーをタッチしてリーディングライト機能のオン / オフ（有効 / 無効）を切り替えます。
- 7) 明るさを切り替えるには設定方法 1 の 1) ～ 4) で行います。
リーディングライト機能のオン / オフ（有効 / 無効）状態は「インフォメーション 2/2 ページ」の「R-LIGHT」ステータスで確認することができます。

- ・1～16 (有効)
- ・Disable (無効)

インフォメーション 2/2 ページ

INFORMATION		12MP
		2 / 2
D-RANGE-EX :	08	
H-SENSOR :	Enable	
T-PATTERN :	AAPM TG18-OIQ	
A-CONFIG :	Disable	
USB POWER :	Auto	
R-LIGHT :	12	
REAR LIGHT :	Disable	
FUNC-1 :	TEST PATTERN	
FUNC-2 :	READING LIGHT	
FUNC-3 :	REAR LIGHT	

リーディングライト

リアライト

本製品は間接照明用のリアライトを搭載しています。背面の LED ライトにより、読影室のような薄暗い部屋の背景の周囲の照明を増加させることができます。

本機能は予め「Disable (無効)」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable (有効)」に設定変更することもできます。

設定方法 1

OSD でリアライト機能をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「**MENU**」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「**REAR LIGHT**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
次に「**REAR LIGHT**」の OSD 表示から「**Disable (無効)**」または「**Enable (有効)**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
- 4) 「**Enable (有効)**」を選択すると、「**REAR LIGHT LEVEL**」の 1 から 16 までの可変バーが表示されます。
+ または - キーをタッチして明るさを調整します。

設定方法 2

リアライト機能を操作キーのファンクション (F1、F2、F3) に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ (有効 / 無効) することができます。ここでは、「**F2**」キーに割り当てる方法を紹介します。

- 1) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「**MENU**」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
次に「**FUNCTION**」の OSD 表示から「**FUNCTION2**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
- 4) 「**FUNCTION2**」の OSD 表示から「**REAR LIGHT**」を選択し、「**OK**」キーをタッチします。
- 5) 操作キー A ～ D のいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 6) 「**F2**」キーをタッチしてリアライト機能のオン / オフ (有効 / 無効) を切り替えます。
- 7) 明るさを切り替えるには設定方法 1 の 1) ～ 4) で行います。
リアライト機能のオン / オフ (有効 / 無効) 状態は「インフォメーション 2/2 ページ」の「**REAR LIGHT**」ステータスで確認することができます。

- ・1～16 (有効)
- ・Disable (無効)

インフォメーション 2/2 ページ

INFORMATION		12MP
		2 / 2
D-RANGE-EX :	08	
H-SENSOR :	Enable	
T-PATTERN :	AAPM TG18-OIQ	
A-CONFIG :	Disable	
USB POWER :	Auto	
R-LIGHT :	12	
REAR LIGHT :	Disable	
FUNC-1 :	TEST PATTERN	
FUNC-2 :	READING LIGHT	
FUNC-3 :	REAR LIGHT	

リアライト機能

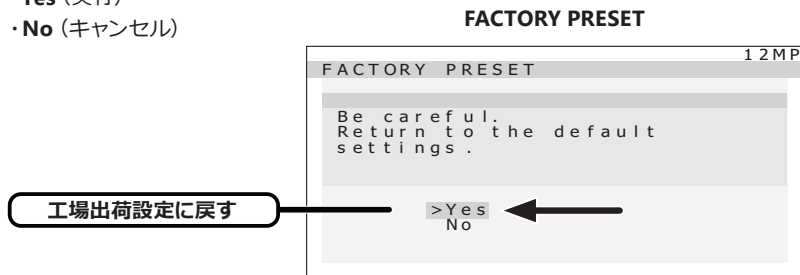
工場出荷設定に戻す

本製品の設定は工場出荷時の状態に戻すことができます。

実行方法

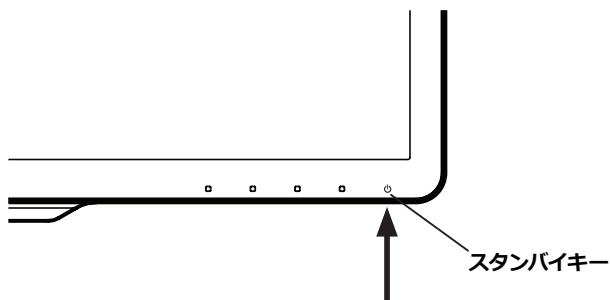
- 1) 操作キーA～Dのいずれかをタッチして「操作キーガイド①」を表示させます。
- 2) 「**MENU**」キーをタッチします。
- 3) ▲ または ▼ キーをタッチしてメニュー 2/2ページから「**FACTORY PRESET**」を選択し、「**OK**」キーを2秒以上タッチし続けます。
次に「FACTORY PRESET」のOSD表示から「**Yes** (実行)」を選択し、「**OK**」キーを2秒以上タッチし続けます。

- ・Yes (実行)
- ・No (キャンセル)



スタンバイキーのロック機能

本製品には、スタンバイキーのロック機能があります。うっかりモニターの電源をオフしてしまうことがないように本製品前面のスタンバイキーをロックすることができます。

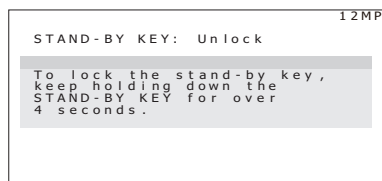


1) ロック方法

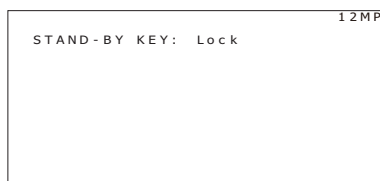
OSD が表示していない状態でスタンバイキーを 4 秒以上タッチし続けます。

すると画面上にスタンバイキーの現在の状態が表示されます。「**STAND-BY KEY: Unlock**」の表示が出るので、スタンバイキーをさらに 4 秒以上タッチし続けると、スタンバイキーがロックされます。

スタンバイキー現在の状態



スタンバイキーのロック

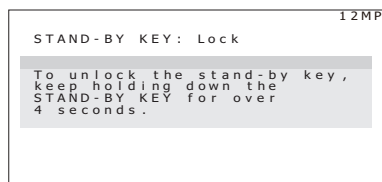


2) ロック解除方法

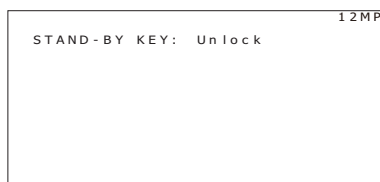
OSD が表示していない状態でスタンバイキーを 4 秒以上タッチし続けます。

すると画面上にスタンバイキーの現在の状態が表示されます。「**STAND-BY KEY: Lock**」の表示が出るので、スタンバイキーをさらに 4 秒以上タッチし続けると、スタンバイキーロックが解除されます。

スタンバイキー現在の状態

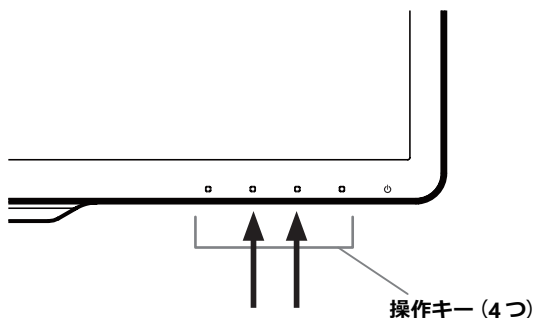


スタンバイキーのロック解除



操作キーのロック機能

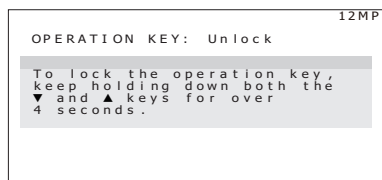
本製品には、操作キーのロック機能があります。モニターの設定を変更できないように本製品前面の操作キー（スタンバイキーを除く）をロックすることができます。



1) ロック方法

OSD が表示していない状態で操作キーの B および C を 4 秒以上タッチし続けます。すると画面上に操作キーの現在の状態が表示されます。「**OPERATION KEY: Unlock**」の表示が出るので、操作キーの B および C をさらに 4 秒以上タッチし続けると、操作キーがロックされます。

操作キー現在の状態



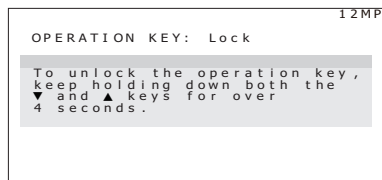
操作キーのロック



2) ロック解除方法

OSD が表示していない状態で操作キーの B および C を 4 秒以上タッチし続けます。すると画面上に操作キーの現在の状態が表示されます。「**OPERATION KEY: Lock**」の表示が出るので、操作キーの B および C をさらに 4 秒以上タッチし続けると、操作キーロックが解除されます。

操作キー現在の状態



操作キーのロック解除

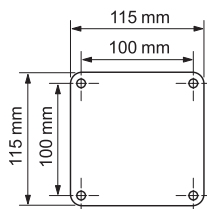


市販のアームを取り付けるときは

本製品はスタンドを取り外して市販のアーム等を取り付けることができます。
使用するアーム等の仕様をご確認の上、次の点に注意してお選びください。

- ・ 100 mm ピッチ取り付けに適合しているもの (右図参照)
- ・ 耐荷重がモニター本体 (スタンドを取り外した状態) と接続されたケーブル類の総質量に耐えられるもの

注意 取りは外したスタンドを再度取り付ける場合は、製品購入時に取り付けられていたネジをお使いください。



警告

取り付け部分の板金厚により必ず指定寸法のネジを使ってください。

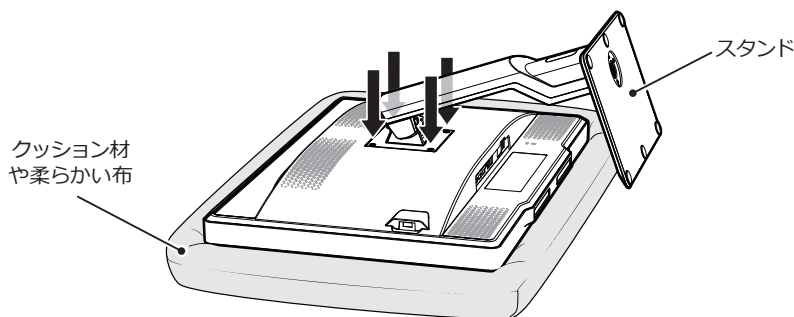
ネジの寸法が長すぎる場合は、モニター内部部品を破損したり、ネジの寸法が短すぎる場合は、落下するおそれがあります。

取り付け部分の板金厚	指定ネジ寸法
3.5-4.5 mm	ISO M4 × 12
1.5-3.5 mm	ISO M4 × 10 (添付品)
1.5 mm 以下	ISO M4 × 8

なお、スタンドの取り外しやアーム取り付けはお客様の責任において行うものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねます。

アームの取り付け方

- 1** 画面に傷がつかないように、安定した平らな面にクッション材や柔らかい布を敷きます。
- 2** その上に画面を伏せてモニターを置きます。
- 3** スタンドを取り外します。(プラスドライバーで下図矢印 4 カ所のネジを外します。)



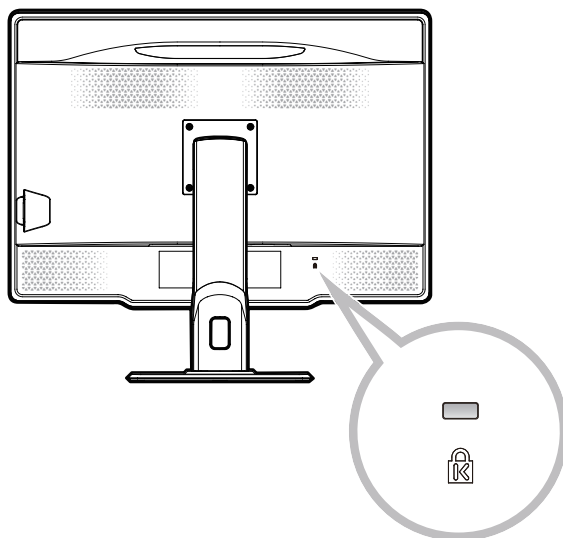
4 モニター本体をアームに取り付けます。(取り外しと逆の手順で行います。)

注意 既に固定されたアーム等にモニターを取り付ける場合は、必ず 2 名以上で安全を確保して取り付け作業を行ってください。モニターが落下したり転倒したりすると、けがや故障の原因となりますのでご注意ください。

盗難防止セキュリティロックスロット

本製品には、ACCO Brands 社の Kensington MicroSaver セキュリティロックシステムに対応したセキュリティロックスロットを搭載しています。

MicroSaver ロックは、別途コンピュータ用品販売店などで求めください。



* Kensington、MicroSaver は米国 ACCO Brands 社の登録商標です。

ヒューズの交換

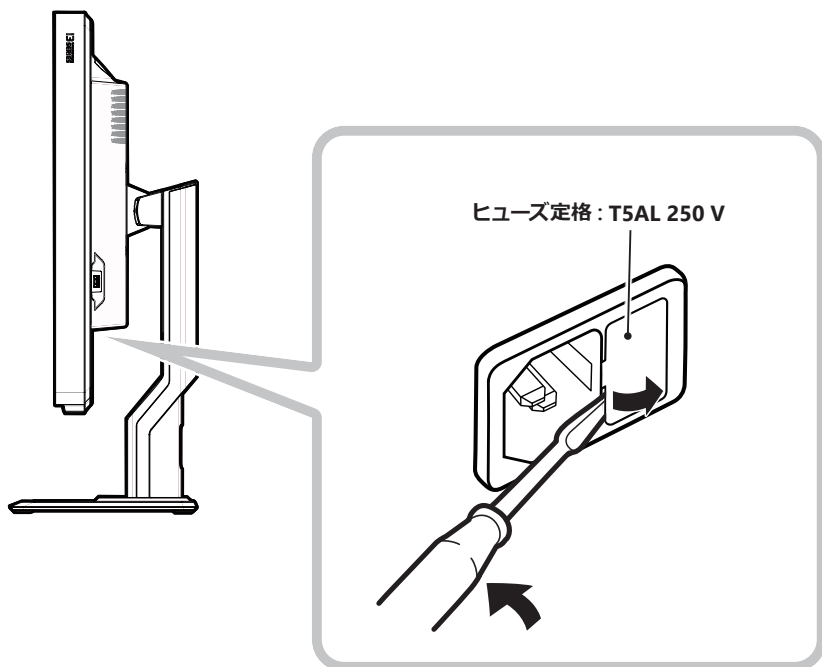
ヒューズ付き AC インレットの注意

AC インレットにはヒューズが内蔵されています。

ヒューズを交換するときは、正当な定格のタイプのみを使用してヒューズカバーを取り付け直してください。

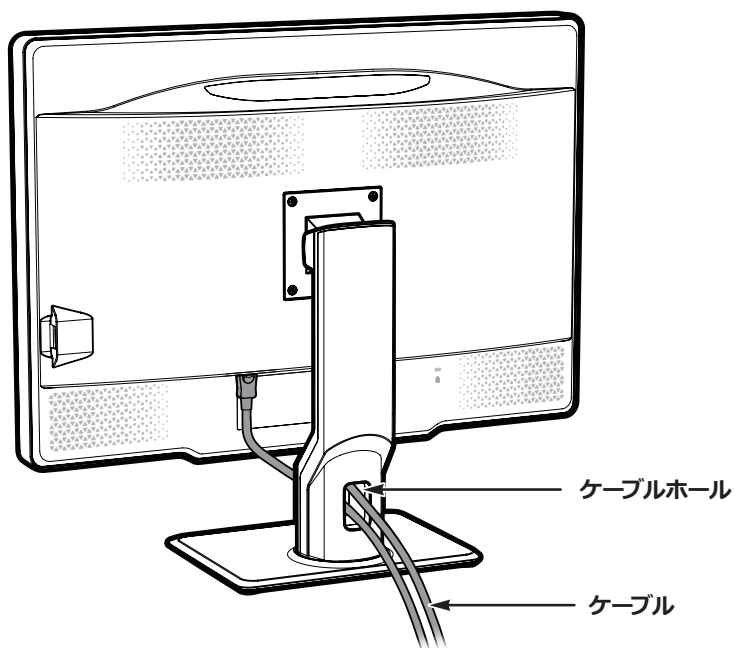
ヒューズの交換方法

マイナスドライバーでヒューズカバーを開き、ヒューズを交換します。



ケーブルマネジメント

ケーブルの接続時には、スタンドのケーブルホールを使用してまとめて配線してください。



故障かな?と思ったら

「故障かな?」という場合、修理を依頼される前に次の事項を確認してください。

症状	考えられる原因と対処方法
電源が入らない! (LED インジケータが点灯しない)	・電源コードの接続を確認してください。(▶ P5) ・メイン電源スイッチが入っているか確認してください。
画面が表示されない!	・信号ケーブルの接続を確認してください。(▶ P5) ・コンピュータの電源が入っているか確認してください。 ・LED インジケータがオレンジ色になっている場合、コンピュータがパワーセービング(省電力)状態になっている可能性があります。キーボードのいずれかのキーを押してみてください。 ・入力信号の周波数もしくは表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。コンピュータの取扱説明書に従って、周波数または表示解像度を調整してください。 ・LED インジケータが赤色になっている場合は、メイン電源スイッチを OFF にしてから、もう一度 ON にしてください。症状が改善されない場合は、弊社サポートデスクへお問い合わせください。
画像が正しく表示されない!	入力信号の表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。コンピュータの取扱説明書に従って、表示解像度を調整してください。
LED インジケータが 0.5 秒間隔でオレンジ点滅を繰り返す!	メイン電源スイッチを OFF してから、もう一度 ON にしてください。症状が改善されない場合は、弊社サポートデスクへお問い合わせください。
DisplayPort 入力で画像が正しく表示されない!	DisplayPort 入力は、グラフィックスカード、グラフィックスカードのドライバ、OS 等の組み合わせによりうまく表示されない場合があります。推奨のグラフィックスカードについてはお問い合わせの販売店にご相談ください。
「Check the system settings.」という OSD が表示される!	DisplayPort 入力でノイズの影響等により色深度が 6 bpc になった時に表示されます。グラフィックスカードのドライバ設定で 6 bpc 以外の設定へ変更してください。

CL-S1200 設置マニュアル
2023 年 3 月版

設置マニュアルに関するご注意

- ・本書の内容の一部又は全部を無断転記することは禁止されています。
- ・本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら販売店にご連絡ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

Printed in Japan
© 2020 JVCKENWOOD Corporation



B5E-0250-40 230329